

自彊前進

題字 西村直子

NO. 42 令和6年1月9日(火)

新潟大学附属新潟中学校 学校だより

文責 教頭

※ 自彊前進…自ら努め励み、前に進むこと
(校歌3番の文言から)

3学期始業式にあたって

あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひいたします。

めでたいはずのお正月でしたが、元日に起こった令和6年能登半島地震で多くの人が亡くなり、今も被災地では避難所暮らしを余儀なくされている人たちがいます。新潟市においても特に西区を中心に、液状化や地割れ等の被害があり、当校の生徒の中にも不自由な暮らしを強いられている人がいます。一日も早い復旧を祈っております。

さて、2024年が幕を開けました。2023年度も残すところ3ヶ月となりました。学校として、それぞれの学年に期待するところをまとめました。

1年生に向けて

1, 2学期の日常と附属中学校の4大行事を通して、「日常と行事のねらいや繋がり」、「相手意識」、「リーダーとフォロワーの役割」、「自主独立・協同」、「自治、エージェンシー」、「ウェルビーイング」等、附属新潟中学校が大切にしていることを理解し始めている頃かと思います。大切なのは、これらの理念や考え方を「絵に描いた餅」にしないことです。これらの理念や考え方を踏まえたアクションを起こしてこそ、初めて附中生と言えます。今月末には、宿泊行事も予定されています。集団として更に成長するチャンスです。機をとらえて、中堅学年に向けて大きく飛躍してほしいと願っています。

2年生に向けて

来年度はいよいよ最高学年として、附属新潟中学校の顔となります。11月の2学年リーダー研修会で、新潟市立横越中学校：倉澤校長先生から Performance と Maintenance の視点を学びました。短期スパンでは Performance が強いリーダーの方が、長期スパンでは Maintenance が強いリーダーの方が目標を達成しやすいという事を学びました。自論を雄弁に語る附中生はこれまでも沢山いましたし、現在も多く見受けられます。それはそれで強みとしながらも、周囲の仲間への日常的な声掛けや人間関係づくりを大切に、「個の成長」と「集団の成長」の両方を大切にするリーダーとして大いに活躍してほしいと思います。

3年生に向けて

3月2日(土)の卒業式まで2ヶ月を切りました。3学期は、進路選択を踏まえ、それぞれが自分の目標に向けて一生懸命勉強に取り組む時期です。しかしながら、3年生の3学期が個人の為だけにあると勘違いしてはいけません。3学期は9年間の義務教育を締めくくる大切な学期です。キーワードは「感謝」と「成長の証」です。共に過ごしてきた仲間、保護者、学校に感謝の気持ちを伝えるとともに、後輩に3年生という集団としての成長を示す大切な時期でもあります。学校という集団に所属している一員として、どのような「感謝」と「成長の証」を示してくれるのか、楽しみにしています。有終の美を飾ってください！

保護者の皆様、1, 2年生は47日、3年生は38日という短い学期となりますが、3学期もよろしくお願ひいたします。